

落雷被害の防止について

春陽の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育の推進に御理解と御協力をいただき、感謝いたしております。

さて、前線や低気圧の影響で大気の状態が不安定になり、落雷や強い雨に注意が必要なときがあります。特に、雷については、大気が不安定な状態では、いつ、どこで雷雲が発生してもおかしくありませんが、その「いつ、どこで」を予測するのは非常に困難です。

学校では、雷から身を守るため、下記の内容を各学級で説明いたします。御家庭でも、お子様と一緒に確認していただきますようお願いいたします。併せて、登下校時に関する対応についても御確認ください。

記

1 学校での説明内容

○ 落雷の予兆

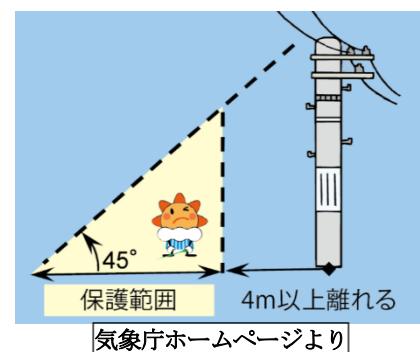
- ・ 真っ黒の雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- ・ 大粒の雨や雹（ひょう）が降り出す。
- ・ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ・ ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。

○ 具体的対応（特に屋外にいるときや登下校中）

- ・ 日頃から、登下校途中の避難場所を考えておく。
- ・ 雷鳴が聞こえたら、すぐに安全な場所（建物や自動車の中など）に避難する。
- ・ 木の下、木のそばには避難しない。
- ・ 自転車に乗っていたら、すぐに降りて安全な場所に避難する。
- ・ 避難場所のないときは、低い姿勢（両足をそろえてしゃがむ）をとる。
- ・ 雷鳴がやんでも20分程度は落雷の危険性があることから、安全な場所で待機する。

○ 安全な空間に避難できない場合の対応

- ・ 登下校時など、近くに安全な空間がない場合は、電柱や煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度の角度で見上げる範囲で、その物体から4 m以上離れたところ（保護範囲）に避難する。
- ・ 高い木の近くは危険なため、木の全ての幹、枝、葉から2 m以上は離れる。姿勢を低くし、持ち物は体から高く突き出さないようにする。
- ・ 雷の活動がやみ、20分以上経過してから安全な空間に移動する。



2 登下校時に関する対応

○ 登校時

落雷の予兆が感じられるなど、地域の状況で危険と判断された場合は自宅で待機をし、学校にその旨を御連絡ください。

○ 下校時

雷鳴が聞こえたり、稲光が見えたりして危険性が高いと判断した場合は下校を控え、学校待機とする場合があります。待機時間が長くなりそうときには、MACやtetoruで御連絡します。